本もデータベースも新聞も

―学校図書館で多様な情報ツールを使う姿勢を育てる―

村山　正子

＜抄　録＞
学校図書館は，学習情報センターとして，情報活用能力を育成する役割を担っている。多様な情報ツールを活用して情報の収集・選択を図り，その中で思考を深めていく学習が必要である。本稿では，昨年まで勤めていた公立中学校での，司書教諭・国語科教諭としての，新聞記事データベースを活用した実践例から，生徒が積極的に情報ツールを活用し身に付けていく姿を紹介したい。

＜キーワード＞
学校図書館，探究型の学習，多様な情報ツール，データベース活用，情報活用能力の育成，司書教諭，学校司書

1　学校図書館で生涯学習の種まきを

図書に限らず多様なメディアの特質を把握し使い分けのできる力は，社会生活における重要な力の１つである。もちろん，深く読み取り比較検討して自分の意見を生み出していくことは，大人でも難しいことである。しかし，だからといって自分で考える学習をさせず，ただ鵜呑みにする読書，まる写しの調べ学習では，社会に出てもいわれるままの行動しかできない人間になってしまう。子どもなりに考える経験が重要であると考える。その経験が，将来の生涯学習の種まきとなるからである。中学校は，義務教育の最後である。基礎を身に付け将来に活かせるようにして卒業させたいと考える。

2　本だけではない学校図書館を

学校図書館では，調べたりまとめたりしやすい環境，多様な情報資料の収集，レファレンスの充実を心がけた。図書・雑誌資料，新聞，インターネットやデータベース検索，等，種々の情報ツールをそろえるよう努力した。地域資料等は，校長室等に保管されている市史等も提供してもらったが，市や県のＨＰ検索や，新聞切り抜きや，新聞記事のデータベース検索が効果的であった。

（写真１）図書も新聞もＰＣも

また，学校図書館での学習のサイクルとして，調べたことをもとに発表するところまでを行えるよう，PC や大型 TV，OHC，カメラ，ビデオ，コピー機等の教材教具も視聴覚係と協力して配置した。

3　情報検索と学校図書館スタッフ

司書教諭は校内の指導計画や活動予定を把握，データベースを紹介したり，活動例やワークシート等を提供したりして，未経験の教員でも情報ツールを気軽に利用できる雰囲気を心がけた。

学校司書は，データベースやインターネット検索の専門技術もあり，資料提供・レファレンス等，支援を行った。教員からは，学校司書が，一緒に探してくれたり検索を手伝ってくれたりするので，気軽に学校図書館活用が考えられる，という声が多く聞かれた。

また，多様な情報ツールを使った生徒作品を展示していると，情報が広がり，他教科で使うヒントになった。

このように，図書資料だけでなく，情報検索等の専門知識を持った学校図書館スタッフがいることで，多様な情報ツールの活用が広がり，学校全体の教科利用増進につながっていった。

4　生涯学習につながるリテラシーを

生徒は，データベース検索で，求める記事を探し大型ＴＶに提示したり，載っている日付や面を調べてから実際の新聞にあたったりしていた。効率的に調べられること，過去の記事を紙面の形で見られること等，データベース検索の便利さを実感していた。

はじめは，なんでもネットで，という声が多いが，慣れてくると生徒も教員も変わってくる。「こういう場合は本物の新聞を見せたほうがいい」「これは市の出しているサイトだと伝えたほうが説得力が出る」などの意見が，生徒から出るようになり，特質に応じた使い分けを意識するようになってきた。どれかに偏らない使い方が深い考えにつながることを，教員も理解してくれる。

このような学習は，繰り返し経験していかないと身に付かない。将来社会人となったときに活用できるよう，学校全体での情報リテラシー指導体制が望まれる。

MURAYAMA，Masako：東京学芸大学（東京都小金井市貫井北町 4-1-1）

授業実践例　…　種々の情報源を特質に応じて使おう

プレゼンテーションの単元では，内容を「報道特集」とし，１つのテーマをいろいろな角度から伝えるニュース番組の形にした。社会に目を向け，そのことについて調べたり，意見を持ったりしてほしいと考え，それを説得力ある伝え方を工夫して発表することを目標とした。

学校図書館には種々の情報資料がいつでも使えるようにしてあるので，生徒は，ふだんから慣れている。今回は，５・６人のグループ活動であったが，すぐに生徒は計画を立て，情報収集の分担を相談していった。

調べる段階では，種々の情報源を特質に応じて使い分ける姿勢を重視して指導した。今回は新聞記事データベースを使うことができたので，データベース活用の有用性も実感させたいと考えた。

ここでは，学校司書の支援が非常に有効であった。

（写真２）新聞記事データベース検索

（写真３）新聞記事データベースで検索した日の新聞を探しに行く

（資料１）

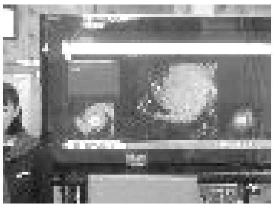
プレゼンテーション「報道特集」社会に目を向け意見を伝えよう

【学習の流れ】

	学習の流れ	司書の支援	
事前	新聞切り抜きスクラップなどを課題とし、社会に対する興味を養う。 委員会活動として新聞記事と図書資料などのテーマ展示	テーマ展示への支援 資料整備	1 学期より学校図書館廊下にテーマ展示
第１時	１、目標と学習の流れを確認する。 グループでテーマを決める。 新聞などを見ながら、訴えたい意見を話し合う。 役割分担を決める	TTで授業 学習の流れと生徒の選ぶテーマを確認していく	テレビのニュースや特集番組を見ておくように伝える。
第２時～第７時	２、情報収集 自分たちの言いたいことを伝えるために、効果的で説得力の高い情報を探す。 ３、構成 全体の流れを考える。 さがした情報の中から、自分たちの主張や構成を考えて選んでいく。 ４、フリップボードを作る。 画用紙一人１枚を、どう効果的に使うかを考える。 説得力を増すためのデータ提示を工夫する。 ５、発表用台本を作る。 文章語と話し言葉の違いを意識して台本を作る。 話し手の動き、フリップボードを指し示すタイミングなども記入しておく。 ６、発表練習 せりふや、情報の提示のしかたやタイミングを練習する。グループ内でお互いに批評しあう。発表時の雰囲気をイメージできるよう、大型テレビやOHC、PCなどを設置しておく。	授業でのレファレンス 開館時の支援 データベース検索の支援（パスワード、けんさく方法など） ネット検索の支援（検索語、信頼できるサイトなど） 使用する情報源 ・図書資料 ・新聞各紙 ・雑誌・パンフレット ・他の印刷資料 ・インターネット ・アンケート・聞き取り調査　他	インターネットや、データベースなどのパスワード入力の指導もしておく。 PC やOHC・大型 TVを用意、使い方を説明 本番と同じ発表場所を準備して練習
第８時	８、発表 最終確認 感想用紙記入の説明 発表（１グループ５分程度） 感想用紙を交換する。	TTで授業に入り、学習の結果を見て次回への参考とする	ビデオに記録する。
事後	他クラスのビデオを見る。 プレゼンの注意事項をまとめる。	保護者会などの機会に映像を見てもらうのもよい。	

テーマ展示

昼休み放課後、学校図書館で自由に検索できるようにしておく。

■発表の流れの例（資料２）

インターネットで台風の映像を「ひまわり８号」のサイトから見せる。 ⇨ データベースから記事の数の変化を調べ，グラフで表示 ⇨ 新聞記事で鬼怒川洪水の説明 ⇨ 図書資料で台風や大雨の説明，最後に対応や注意点をまとめる。